

第5回西予市中学校再編検討委員会グループワークまとめ

【パート1】中学校を再編した場合の期待できる効果
教育環境の視点、地域の視点、地域との連携の視点 等

- グループ① 学校規模が大きくなることで、人間関係が広がり、コミュニケーションの機会が増える
 職場体験や行事では、選択できる内容が増え、年度ごとに多様な体験が可能
 合唱コンクールなど、規模を生かして行事を盛り上げることができる
 人数増加により設備が充実し、子どもたちは多様な活動を行える
 地域交流やPTA活動においても、関わり方の幅が広がる
- グループ② 学校規模が大きくなることで部活動の選択肢が増え、子どもたちはやりたいことに挑戦しやすくなる
 運動会などの行事は人数が増えることで活気が出て、子ども同士のつながりも広がる
 学校統合後も地域との交流は維持・継続でき、過度な懸念は少ない
 複数地域の子どもが関わることで、市全体への理解や地域意識の広がりが期待できる
 家庭面では、古紙回収など保護者負担の見直しにより、負担軽減につながる可能性がある
- グループ③ 子どもたちは、学習や部活動において切磋琢磨でき、成長の機会が広がる
 多様な意見や考えに触れることで、視野が広がる
 人間関係に悩みを抱える子どもにとっては、新たな関係を再構築できる可能性がある
 生徒数の増加により、教員配置の適正化が期待できる
 家庭面では、異なる地域の保護者との交流が生まれ、有益な情報共有につながる
- 委員長まとめ 子ども同士の関係性の中で、コミュニケーション能力や人間関係を築く力の向上
 多様な人と関わることで、考え方や価値観に触れ、視野が広がる
 行事の充実や挑戦できる環境整備により、子どもたちのやりたいことの選択肢が増える
 子ども数が増えることで、教員配置を含めた教育環境の充実が期待できる
 学校区の拡大により、人の交流が活発になり、地域理解が促進される
 これまで接点の少なかった地域同士の関わりが生まれ、市全体への理解が深まる
 家庭面では、PTAなどの役割分担が公平になり、希望に応じた関わり方がしやすくなる

【パート2】中学校を再編した場合の課題とその解決策
教育環境の視点、地域の視点、地域との連携の視点 等
通学手段、通学路の安全対策、寄宿舎

グループ① 学校内の課題として、通学時間の差による不公平感が懸念され、寄宿舎設置や登校方法の工夫が必要
寄宿舎運営（宿直含む）は、市が主体となって行うことで、教員の負担軽減につながる
スクールバスについても、市が直営で運転手を雇用・運営する形が望ましい（学校の維持管理兼務）
家庭面では、統合に伴う制服や体操服の買い替えなど、経済的負担への懸念
地域の衰退やつながりの希薄化を防ぐため、学校行事への参加機会確保などの工夫が必要

グループ② 学校内では、いじめの発生が懸念される一方で、生徒数増加により助け合いやサポート体制の活用が期待される
通学時間の長さは課題だが、バス内での交流や学習・読書など時間を有効活用できる
登下校時の混雑や安全面への配慮が必要で、停留所や通学路の工夫、公共交通の活用案も挙がった
地域では、行事に参加しにくくなる課題に対し、行事の生中継などで関わりを維持する案が示された
家庭・保護者にとっては送迎や駐車場確保の負担が課題で、市施設の活用など運営面の工夫が求められた

グループ③ 教育課程・活動面では、人数増加により個別指導が行き届かず、子どもが埋もれてしまう懸念が課題 解決策として、教員数の増員や、学習の場・体制を複数設ける工夫を提案
家庭面では、朝の準備時間が早まることや、地域クラブへの送迎時間が長くなる負担が指摘 対応策として、行事や指導時間の見直し、始業時間を遅らせる案
地域に関しては、学校再編により地域が寂れ、若者が流出するのではないかという課題 再編の進め方そのものを見直す必要があるのではないか

委員長まとめ 学校内の教育課程では、通学時間やスクールバス利用の長時間化が大きな課題として挙げられた
渋滞や安全面を含め、登下校をどのように保障するかが重要な検討点となった 解決策として、バス内での学習や読書、ICT 環境を活用した有効的な時間活用の案が示された
生徒数増加に伴い、個別指導の不足やいじめへの懸念が課題 教職員増員やサポート体制の充実により、丁寧な支援を行う必要性が共有された
寄宿舎に関しては、生活支援や送迎、管理運営主体を明確にすることが課題

地域面では、学校行事に参加しにくくなることや地域の衰退への懸念が挙げられた。行事の映像配信などにより、地域との関わりを維持する工夫が提案された。家庭では、物品購入などの経済的負担や送迎負担の増加が課題として示された。全体として、人口減少を見据えた持続可能な学校運営と支援体制の検討が必要

【パート3】 寄宿舍について、保護者・入寮生に聞いてみたいこと

寄宿舍の生活環境（部屋割り、男女区別、風呂・トイレ等）はどのようになっているか

入舎時や生活開始後に、子ども・保護者それぞれはどのような不安や気持ちを抱き、どう変化したか

保護者の同意や署名が必要な手続き（進路相談・推薦書等）は、どのように対応していたか

離れて暮らす中で、進路相談や日常的な親子のコミュニケーションはどのように取っていたか

寄宿舍の食事内容や量・質について、子どもは満足していたか